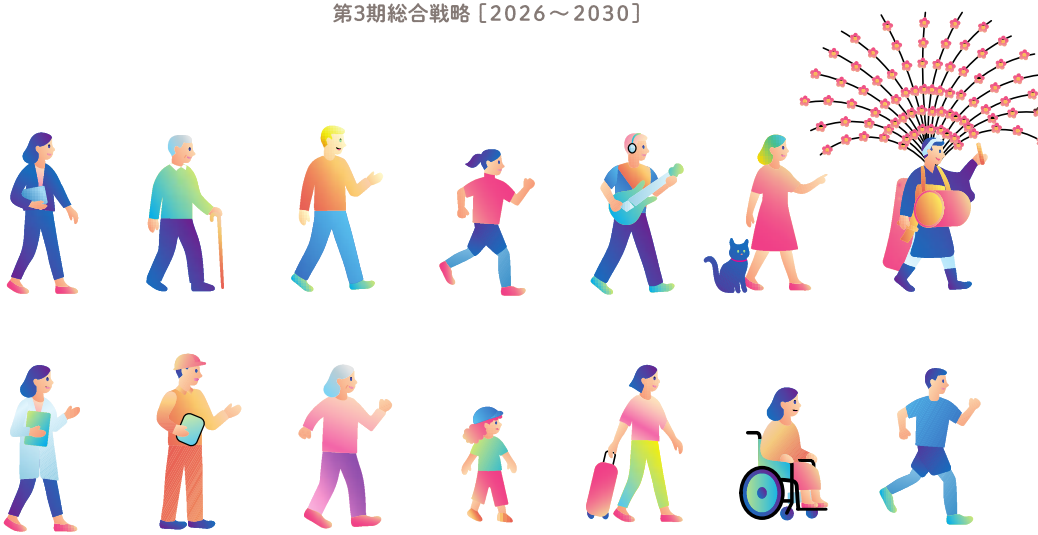
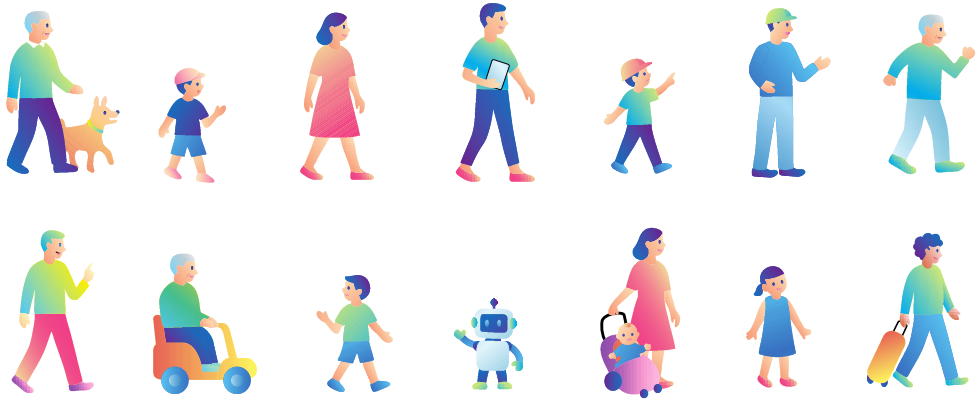
OMURA

第6次大村市総合計画

基本構想［2026～2035］
前期基本計画［2026～2030］
第3期総合戦略［2026～2030］



しあわせの輪が広がるまち　おおむら



ごあいさつ

大村市長　園田 裕史

本市はこれまで、「行きたい、働きたい、住み続けたい しあわせ実感都市」を合言葉に、空港、高速道路 IC、新幹線駅の「高速交通三種の神器」を活かしたまちづくりを進めてまいりました。あわせて、新幹線新大村駅前や第 2 大村ハイテクパークの開発、ミライ on をはじめとした都市基盤の充実に力を尽くしてまいりました。

その歩みは、50 年以上に及ぶ人口増加の継続や、「住みよい街ランキング全国 4 位」、「子育てしやすい自治体ランキング全国 1 位」という高い評価として実を結び、本市のポテンシャルが全国に示されたものと確信しております。

しかし、時代は今、大きな変革の時期を迎えています。少子高齢化や物価高騰、急速なデジタル化、多文化共生、気候変動による災害リスクなど、私たちが向き合うべき課題は複雑さを増しています。だからこそ、過去の成功体験にとらわれず、未来を見据えた新たな挑戦が必要です。

そこで、本市の次なるステージへの指針である「第 6 次大村市総合計画」の策定に先立ち、多くの市民と共に、2050 年に大村市がこうなったらいいな、こんな大村市ならワクワクするなという、本市の目指すべき将来像である「しあわせの輪が広がるまち おおむら 2050」を作成いたしました。

この将来像を実現させるための最初の 10 年間の計画として「第 6 次大村市総合計画」を策定し、その行動指針として「つながりと挑戦で ありたいミライへ」を掲げました。

私は、本計画を実行するにあたり、“NEIGHBORGOOD CITY（ネイバーグッド シティ）～向こう三軒両隣～”の実現により人と人、地域、社会とのつながりを力に変え、“ONE OMURA ～一人はみんなのために、みんなはひとつのために～”の精神で市民一丸となって絶えず挑戦を続けることで、理想の大村を形にしてまいりたいと考えております。

市民も、企業・団体も、行政も、一丸となり、我々が長崎県をけん引するトップランナーであるという気概をもって、赤ちゃんからお年寄りまで、みんなが大村市で生まれて、成長して、暮らして、住み続けて、最期を迎えたいと思えるよう、しあわせが循環するまちづくりを進めて行きましょう。

結びに、策定にご協力いただいた全ての皆様に心より感謝申し上げますとともに、新たな大村の創造に向け、より一層のご理解とご参画をお願い申し上げます。

目　次

はじめに……3

大村市のミライに対する想い……4
2050 年のありたいまちの姿……6
Ⅰ 私をかなえるまち……8
Ⅱ 健やかに暮らせるまち……10
Ⅲ 安全・安心を得られるまち……11
Ⅳ にぎわいを感じられるまち……12
Ⅴ 心地よくすごせるまち……13
Ⅵ みんなでつくるまち……14
ミライのまちの姿を描く市民参画の風景……16

第 6 次大村市総合計画……19

総合計画の構成……20

大村市のいま……23
大村市のこれまでについて……24
大村市のしあわせの現状……25
大村市の都市構造……30

基本構想……33
大村市の 10 年間の指針……34
ミライを支える６つの柱（基本目標）……35

基本計画・総合戦略……39
政策体系……40
［基本目標１］人を育むまちづくり……42
［基本目標２］健康でいきいきと暮らせるまちづくり……60
［基本目標３］安全・安心なまちづくり……72
［基本目標４］活力に満ちた産業のまちづくり……80
［基本目標５］機能的で環境と調和したまちづくり……96
［基本目標６］市民協働の推進と持続可能なまちづくり……112

資料編……125
目標人口……126
大村市の現状……127
市民参画の様子……135
策定経過……142
委員名簿……146